

平成28年度山口県教育委員会会議

テーマ

「小学生の問題行動等への対応」

学校安全・体育課

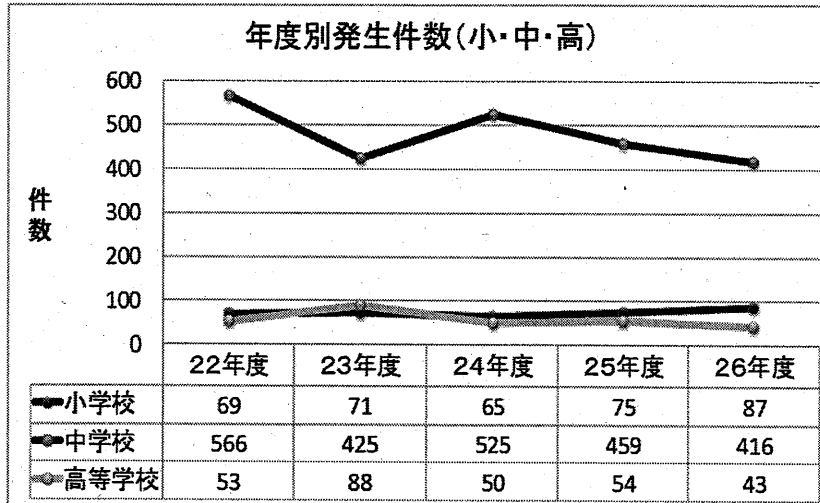
1

■ 本県の問題行動等の現状

～平成26年度「児童生徒の問題行動等
生徒指導上の諸問題に関する調査」から～

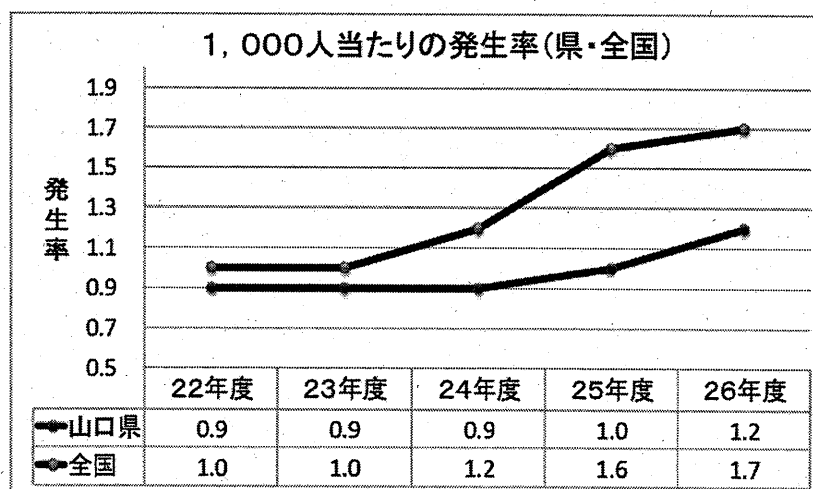
2

暴力行為の状況① 暴力行為の発生件数の推移



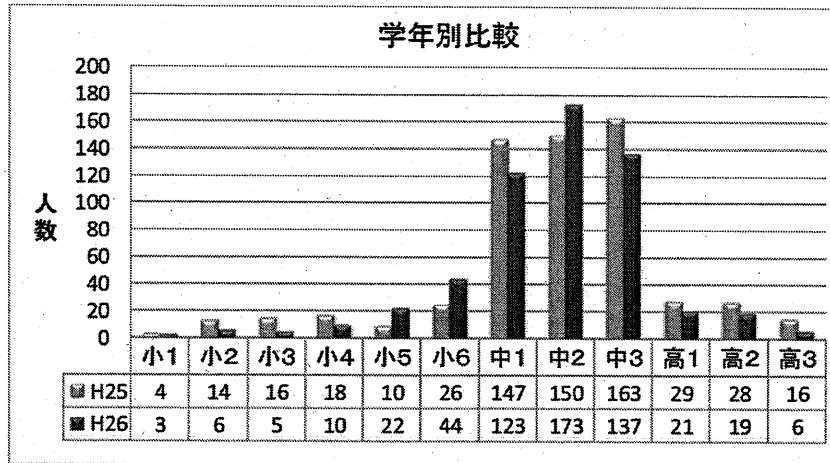
3

暴力行為の状況② 小学校の暴力行為の発生率



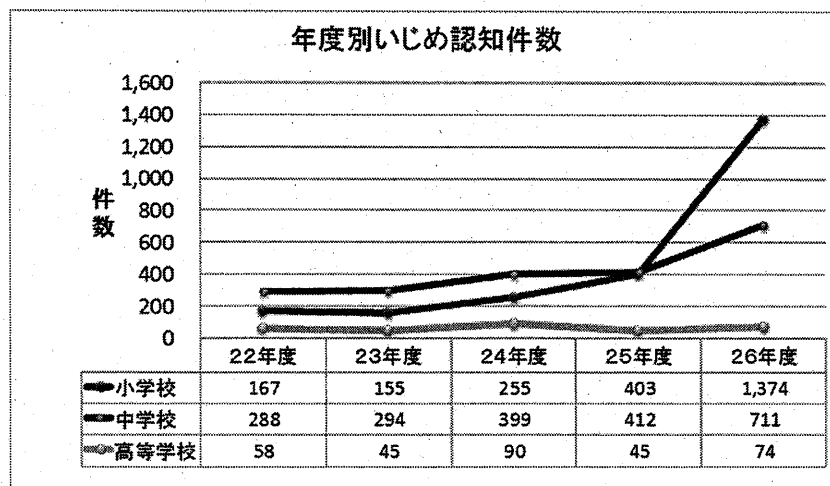
4

暴力行為の状況③ 学年別加害児童生徒数



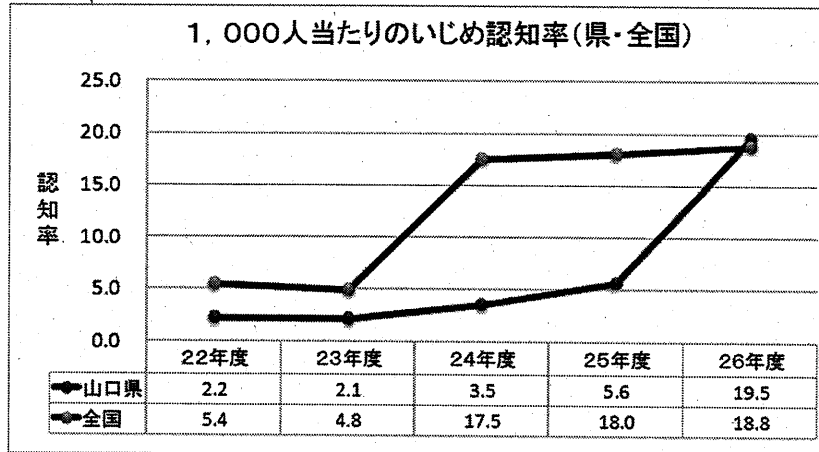
5

いじめの状況① いじめ認知件数の推移



6

いじめの状況② 小学校のいじめ認知率



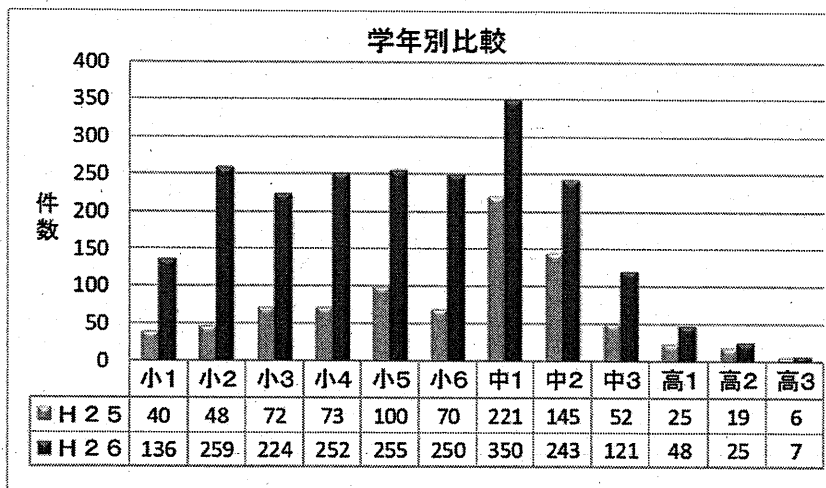
7

平成26年度いじめの状況について

- 平成24年度(大津市事案)、いじめが社会問題化。
- 平成26年度(矢巾町事案)、児童生徒間トラブル等も含め、いじめをより幅広く捉えたことから、認知件数が増加。
- 「軽微なトラブルの中にもいじめがあるかもしれない」という認識が、いじめの早期発見・早期対応につながる。
- 学校の認知力・対応力を高める取組を一層進めるとともに、学校・家庭・地域が一体となって、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に取り組むことが必要。

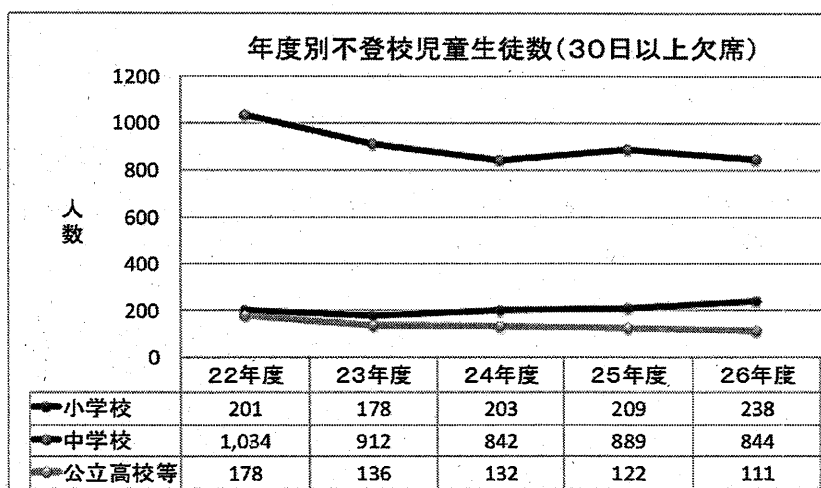
8

いじめの状況③ 学年別いじめ認知件数



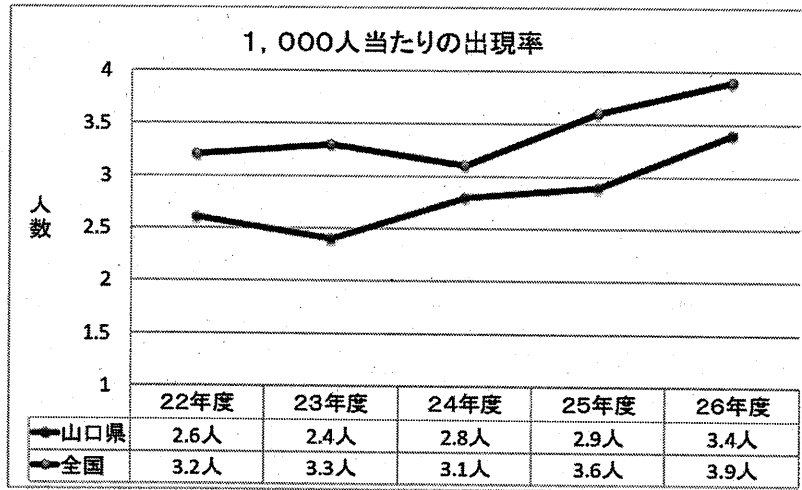
9

不登校の状況① 不登校児童生徒数の推移



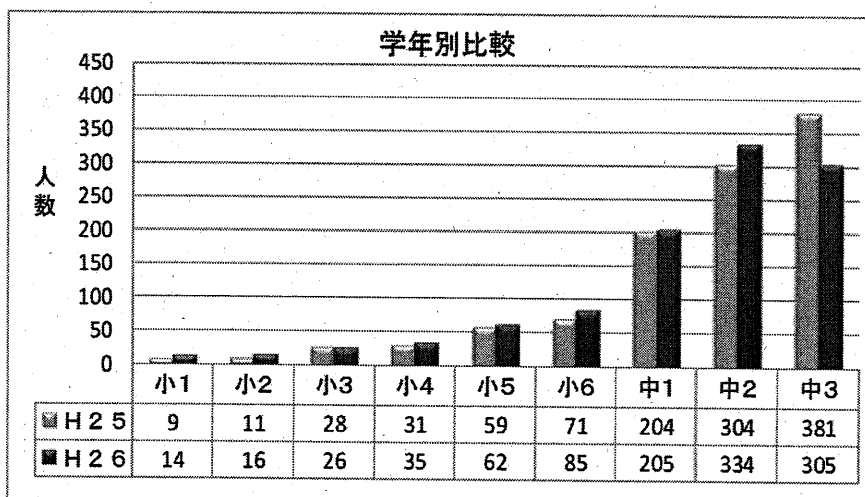
10

不登校の状況② 小学校の不登校児童出現率(県・全国)



11

山口県の不登校の状況③ 学年別不登校児童生徒数



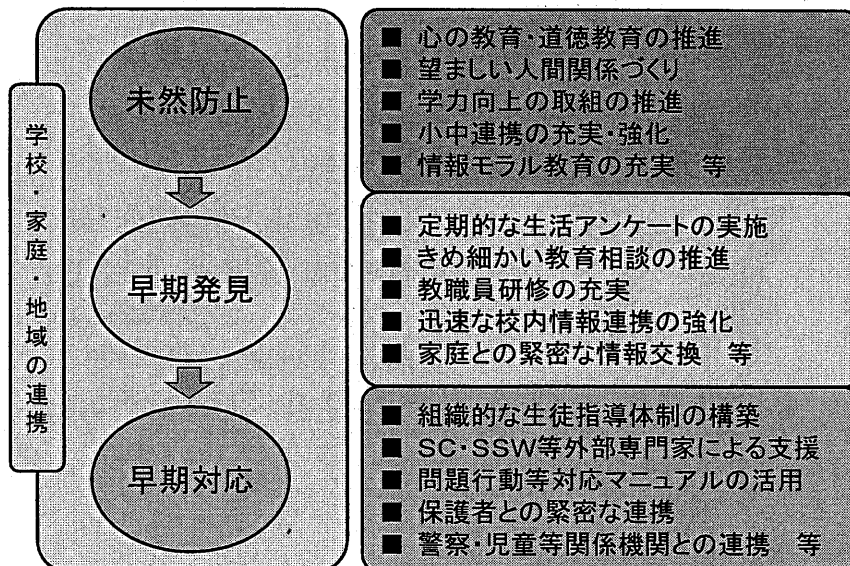
12

■ 現状と課題

- 現状:本県の問題行動等の現状は、いじめを除き、全体としては、減少傾向であるが、小学校において増加傾向(微増)が見られる。
- 小学校における課題:
 - ・ 暴力行為・・・感情のコントロールがうまくできず、些細なことで暴力行為にいたる児童が増加。
 - ・ いじめ・・・児童間トラブルを含め、いじめを幅広く捉えたことにより、認知件数が増加。
 - ・ 不登校・・・「不安など情緒混乱」といった本人に係る状況、及び「生活環境等の変化」といった家庭に係る状況を理由とした不登校が増加。

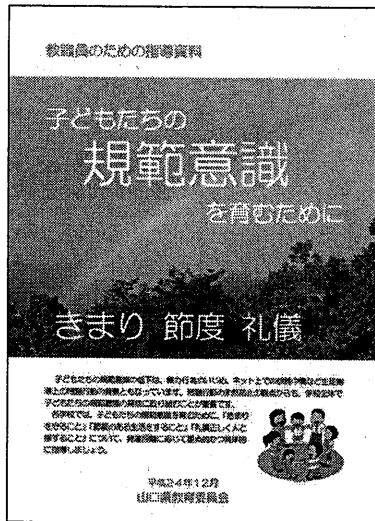
13

■ 基本的な取組



14

■ 未然防止の取組



指導資料

「子どもたちの規範意識を育むために」(H24.12月)

・きまりを守ること、節度のある生活をする、礼儀正しく人に接することについて、発達段階に応じた具体的事項を示した、教員向け指導資料。

15

■ 未然防止の取組



家庭・地域向け啓発資料

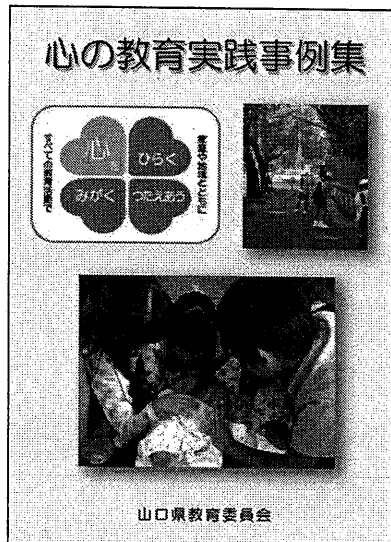
「いじめ防止・根絶」

(H27.3月)

・学校、家庭、地域が、子どもたちを見守る、かかわる、ささえる、つながることにより、社会総がかりでいじめの防止・根絶を図るための啓発リーフレット。

16

■ 未然防止の取組



事例集

「心の教育実践事例集」
(H27.3月)

・家庭や地域とともに、心をひらく、みがく、つたえあう教育活動を充実させ、子どもたちの心の成長、豊かな人間関係づくりを支援するための実践事例集。

17

■ 未然防止の取組(広報・啓発)

「子どもの未来を考えるフォーラム」

○ 子どもたちを取り巻く諸問題について、関係者が意識を共有し、児童生徒の健全育成に向けた取組を推進する。

・ 平成28年8月26日(金)13:00~16:30

・ 周南市学び交流プラザ

・ 基調講演

「ネットいじめの未然防止、解決に向けた指導と対応」

講師:鳴門教育大学大学院 阪根 健二 教授

・ 実践発表

下関市教育委員会「魅力ある学校づくり(山の田中学校区)」

周南市立勝間小学校「コミュニティ・スクールの取組」

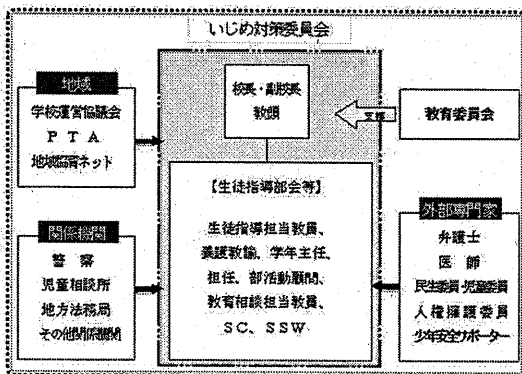
18

■ 早期発見の取組

- 週1生活アンケート(小・中学校)の推進
 - ・24年度から全市町で実施
 - ・個別の教育相談につなげる
- 子供SOSダイヤル(やまぐち子どもSOSダイヤル)
 - ・本年4月、いじめ110番から、文科省フリーダイヤルと統合(24時間対応)
- スクールカウンセラーの配置
 - ・小100校、中全校(H18～)、高50校に配置
 - ・未配置校においても訪問支援

■ 早期対応の取組

○ 学校いじめ対策委員会の設置



・平成26年4月、
全ての公立学校
に設置

・対応だけでなく、
学校のいじめ対策
全ての中核

■ 早期対応の取組

○ 児童生徒支援加配(学習・生徒指導加配)

H28:小50校、中69校に教員を加配

○ 生徒指導緊急加配(年度途中の緊急加配)

H27:小2校、中6校に教員を加配

○ スクールソーシャルワーカーの配置

- ・児童生徒の環境への支援を行う専門家。
- ・平成27年度、全市町へ配置拡充。

■ 重点取組(未然防止)

国立教育政策研究所 委託
 平成26・27年度魅力ある学校づくり調査研究事業
 山の田中学校区 小中一貫して取り組む
魅力ある学校づくり
 魅力ある学校づくり
 9年間の学びの
 つながりをめざして
【魅力ある学校づくり】調査研究事業とは
 家庭学習や地域化などの変化に伴い、学習や社会が変化する次世代の児童生徒等への調適
 的な学びや生活の場を創出するため、小中一貫して取り組む「魅力ある学校づくり」調査研究事業
 の実施、推進として、調査研究を実施して、これら児童生徒の将来の社会的適応にむけて大
 きく貢献する。
 不登校やいじめ等の未然防止を推進するため、教育委員会と連携し、児童生徒が自ら人
 間性や自ら学び考える力などの「生きる力」を育成する「魅力ある学校づくり」について、調査研究を
 実施する。
 拠点校 下関市立山の田中学校
 〒751-0203 山田下関市立山の田中学校(本校)等
 TEL 083-252-0288
 FAX 083-252-0274
 E-mail 山田中学校 yamanaka@city.yamamoto-kyamaguchi.jp
 連携校 下関市立生野小学校 下関市立山の田小学校

「魅力ある学校づくり」
調査研究事業

- ・平成26・27年度山の田中・山の田小・生野小の取組
- ・不登校やいじめの未然防止のため、児童生徒の豊かな人間性や自ら学び考える力などの「生きる力」を育成する。
- ・本年度、1年延長し、学区を拡大して実施。

■ 重点取組(未然防止)

○ 不登校を減らすためには・・・

不登校新規数の抑制に着目

全ての児童生徒を対象にした未然防止

中学校区で取り組む「魅力ある学校づくり」

○ 取組の三本柱(山の田中学校区)

- ・関わりあいのある授業づくり
- ・兼務教員がつなぐ、小ー小ー中連携
- ・コミュニティ・スクールの活用と連携

23

■ 重点取組(未然防止)

○ 集団づくり

「学校が楽しい」

「みんなで何かするのは楽しい」

○ 授業づくり

「授業に主体的に取り組んでいる」

「授業がよく分かる」

年3回の
意識調査

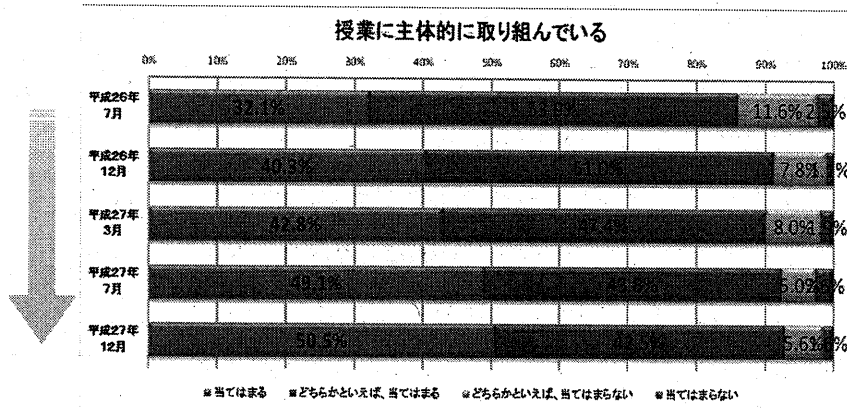
○ PDCAサイクルによる検証・改善

- ・教職員の意識の向上、組織体制の充実。

24

■ 重点取組(未然防止)

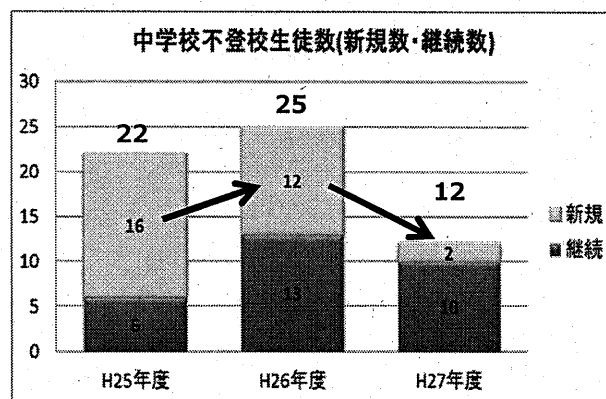
○ 「授業に主体的に取り組んでいる」割合の推移
(山の田中学校区全体)



25

■ 重点取組(未然防止)

○ 不登校生徒数の推移(山の田中学校)

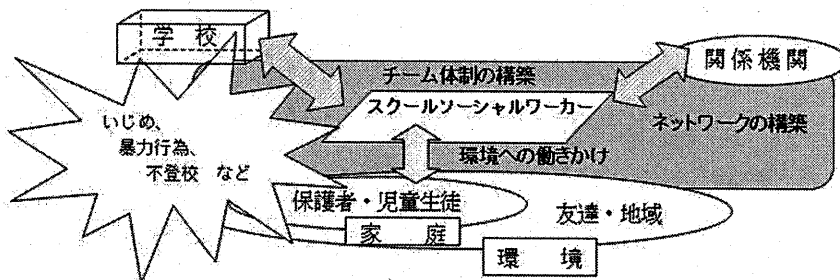


26

重点取組 (SSWの活用による早期対応)

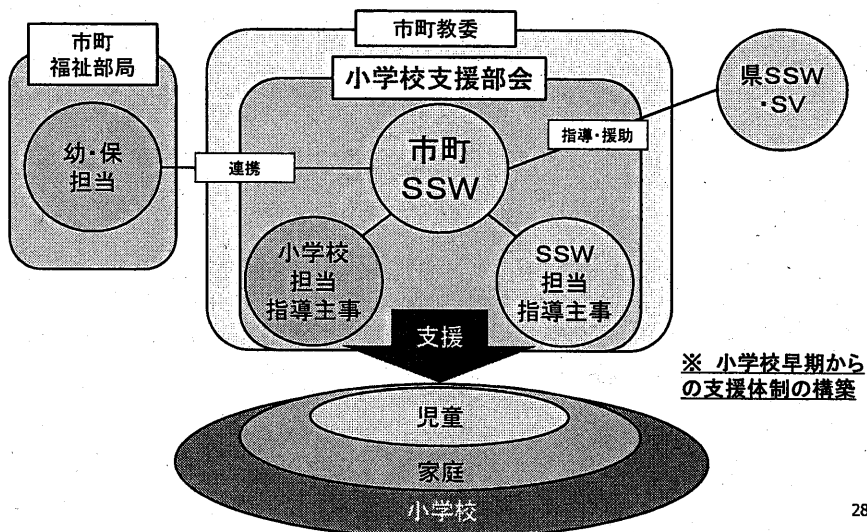
■ スクールソーシャルワーカーの職務内容

- (1) 課題を抱える児童生徒が置かれた環境への働きかけ
- (2) 関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整
- (3) 学校内における支援チーム体制の構築
- (4) 保護者、教職員等に対する支援・相談・情報提供
- (5) 教職員等への研修活動
- (6) 学校いじめ対策委員会への参画 等



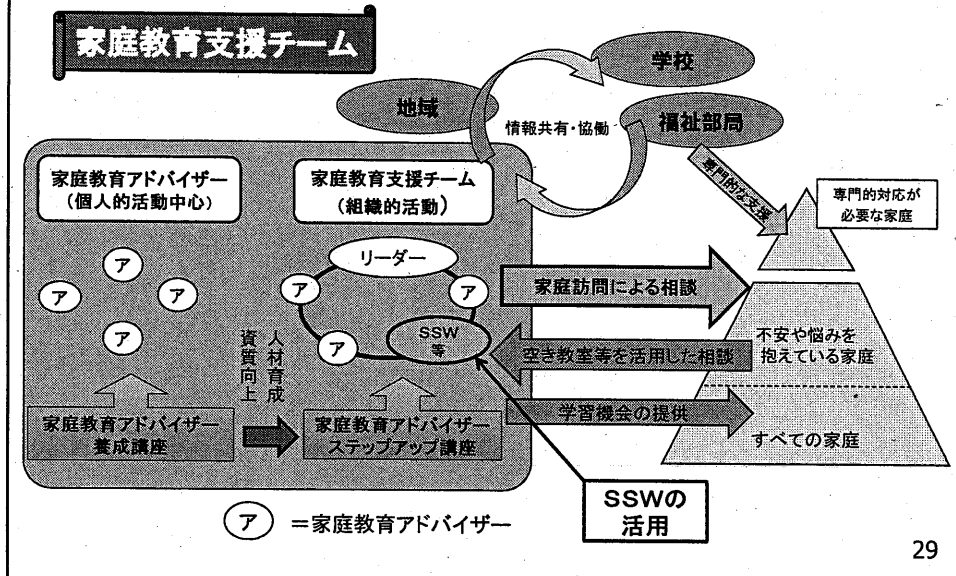
27

重点取組(早期対応) 市町SSW小学校支援部会の設置(H28)



28

SSWと地域人材との連携による 「訪問型家庭教育支援事業」(H28)



■ 意見交換の視点

小学生の問題行動等の解決に向けた
【未然防止】

○ 地域との連携の充実・強化

【早期対応】

○ SSWを活用した家庭支援

